

顎顔面口腔外科学分野

教授 高木 律 男

1. はじめに

私どもの顎顔面口腔外科学分野（旧：口腔外科学第二講座）は、前任の大橋 靖教授のもと昭和48年12月に開設されました。平成10年3月に大橋 靖教授が定年退官され、同年12月より高木が引き継がせていただいております。平成13年には大学院大学となり、講座名が新潟大学歯学部口腔外科学第二講座から、新潟大学大学院医歯学総合研究科健康科学講座顎顔面口腔外科学分野となりました。それに伴い、診療科名も第二口腔外科から、顎顔面口腔外科となっています。名称は変わりましたが、歯学部学生と大学院生の教育はもとより、医歯学総合病院の口腔外科医および歯学研究者として、開設当初より口腔外科学の全般に亘って切磋琢磨しております。

2. 臨床・研究・教育の概要

顎顔面口腔領域に生じる疾患における正確な診断および適切な処置には、広い知識と経験が求められます。

当科は、(社)日本口腔外科学会の認定指導施設(1012号)として、3名の指導医とともに診断・治療を行いつつ、専門医・認定医を育成しております。また、より専門性の高い治療を提供できるよう、多岐にわたる口腔外科疾患の中から、1)腫瘍・再生班、2)口蓋裂・変形症班、3)顎関節・外傷班、4)有病者・感染対策班を立ち上げ、臨床と研究および教育を分担しております。

以下、各班における主な研究内容をご紹介します。

1)腫瘍・再生班：①オーダーメイドがん治療を目指した有用なバイオマーカーの開発と臨床応用。②培養自家骨膜による歯槽骨・顎骨再生医療の臨床試験を実施。

2)口蓋裂・変形症班：①Hotz床併用二段階口蓋形成法による集学的管理体制から顎発育と鼻咽腔閉鎖機能等を解析。②唇顎口蓋裂の発生に関わる遺伝子解析研究。

3)顎関節・外傷班：①顎関節症の穿刺療法の検討。②顎顔面骨骨折の集学的治療法の検討と顎関節脱臼および関節突起骨折の発生機序の解明、その対応。

4)有病者・感染対策班：①有病者歯科医療および周術期口腔機能管理のコーディネートと口腔ケアへの対応。②医科(HIVブロック拠点病院)との連携のもとHIV感染者の歯科治療ネットワークを構築。

3. 構成員(2016年4月1日現在)

教授：高木律男*

准教授：永田昌毅*

講師：児玉泰光*

助教：池田順行#(病院講師)、小山貴寛#、
勝見祐二#、西川 敦、大貫尚志

特任助教：

小玉直樹#(医科：地域保健医療推進部)

黒川 亮(医科：次世代医療人育成センター)

医員：齋藤太郎、結城龍太郎

研究生：上野山敦士、山田瑛子、新垣元基
大学院生(学年：所属)：

永井孝宏(4：口腔解剖)

渡部桃子(4：口腔解剖)

原 夕子(4：生体組織再生)

深井真澄(4：言語)

隅田賢正(3：口腔病理)

北村 厚(3：口腔解剖)

木口哲郎(2：歯科薬理)

中谷暢佑(2：口腔生理)

清水志保(1：顎外)

*：指導医
#：専門医

社会人大学院生：大湊 麗（4：言語）

鈴木英弘（3：顎外）

新潟大学医歯学総合病院 玄関（エントランス階）にて



4. 過去10年間の業績等一覧

平成	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
外来新患	1364	1312	1320	1227	1237	1330	1286	1517	1557	1572	
手術件数	254	243	275	263	272	260	310	278	288	298	
入院数	396	377	409	391	383	375	387	404	398	399	
言語治療室	90	98	76	76	91	84	95	82	95	76	
論文	筆頭	12	8	9	9	9	12	11	8	9	9
	共著	4	10	7	4	9	11	19	7	3	4
	合計	16	18	16	13	18	23	30	15	12	13
発表	筆頭	32	48	24	30	30	38	34	33	31	38
	発表	7	4	20	12	20	10	12	13	10	32
	合計	39	52	44	42	50	48	46	46	41	70
学位取得者	5	1	4	4	2	1	5	3	1	2	
学会賞等	2	1	1	0	2	4	1	1	1	1	
ポスター賞	1	0	1	0	2	0	2	0	1	0	

注：手術件数は中央手術室（全身麻酔＋局所麻酔）での手術のみ。